

農民戦線の新らしき展開と当面の政策

臨時説会開催を要求せよ！

農民戦線の統一今之農民戦線の統一は除々に結成されつつある。また統一さしぬはなりぬ戦線に到達した。今後の運動は絶対的に全国的、政治的、指導方針を取るに非ざれば其の歩武を進め得ないであらう。全農全国会議、全農総本部、日本農民組合、総同盟、其の他各々の団体の指導精神は各々異なる所があるであらう。然し農民大衆の困窮自体は全農全国会議の指導下にあらうとも、全農総本部治下にあらうとも、或は日本農民組合総同盟或はフアツシヨ日本農民組合の手下にあらうとも、又は組織外の勤労農民大衆の全体であらうが絶対的に同一である。

世界の経済情勢に於てソビエト、ロシアと中国ソビエトを除く以外ソビエト、ダンペンに依つて一旦経済界の好転をなしたる如き観をなす日本と雖も国内大衆の生活窮乏は世界資本主義國家の経済破綻と共に其の軌を一にしてゐるものである。今の世界の大家は絶望してゐる。日本に於て亦然り、これは現在の日本支那階級と我々勤労農民の關係に就いて者へて見るやうは無慈悲能く存在して資本家を擁護し軍部に阿諛し、治安維持法を振り廻す以下何事もなまざる齊藤内閣が前にも扶手停観して従りに手く余る戦線の續存に猶、是れが形である。其間分岐的斗争は我々陣営に於て之を改見するも全国に散打つ我々の攻撃は大家の間に生々しく映るやうである。それは遺憾なく我々の階級戦線は全体に亘つて看取せざるを得ない事實である。例へば政治的指導者の近來の内外は余りに